

チェコ経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Czech Republic)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufj.jp)

概況	消費、労働市場
<p>チェコ経済は、堅調に回復基調を維持している。低インフレや労働市場の改善を背景とする実質所得の増加が個人消費を支えているほか、EU 基金を利用した公共投資の拡大なども景気回復の支えとなっている。第 2 四半期の実質 GDP 成長率(改定値)は、一時的要因により上振れした前期からは減速したものの、安定した個人消費や総固定資本形成の大幅な加速など、内需に支えられ、前期比+1.0%と高めの成長率を記録。一方、輸出入は共に前期から減速したが、輸出の減速ペースが若干輸入を上回り、純輸出の寄与度は僅かながらマイナスとなった。足元の動きをみると、雇用情勢の改善により消費者マインドは安定しており、小売売上も底堅く推移している。鉱工業生産も、自動車部門を中心に製造業が牽引役となり、安定的な伸びが続いている。</p> <p>先行きについても、低インフレや雇用回復の持続が、消費下支え要因となろう。また、EU 基金による公共投資の増加や低金利を背景に、建設部門を中心に企業景況感に改善が見られるなど、企業投資拡大への期待も高まっている。ただし、9 月に米国で発覚したドイツの車両メーカーによる排ガス規制に関する不正は、独自動車産業との結びつきが強いチェコの製造業に少なからぬ負の影響を及ぼすことが予想される。財務省報道官は、同問題に伴う実質 GDP 成長率の押し下げ幅は、0.1%~0.2%ポイントとしたが、民間金融機関では、それを上回る規模の下振れの可能性も指摘されている。</p>	<p>8 月の小売売上は前年比+4.4%と、衣料品、燃料の売上げなどが鈍化したことを背景に前月の同+5.7%から減速した。もっとも、低インフレ状況下でも、賃金増加ペースは加速している上、雇用者数も増加トレンドを維持している。消費者マインドは金融危機以前の水準まで持ち直しているなど、消費を取り巻く環境は、現在のところ安定している。ただし、足元、失業率の低下に若干足踏みが見受けられるほか、家計の失業懸念にも上昇の兆候がみられる。ドイツ車両メーカーが排ガス規制を不正に逃れていた問題の影響は、足元の指数には反映されておらず、今後の推移を注視する必要がある。</p> <div data-bbox="826 689 1465 1093"> <p>消費者信頼感指数 (%ポイント)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価、金融政策
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率(改定値)は前期比+1.0%(前年比+4.4%)となった。前期比では、タバコ税の変更に伴う在庫変動という一時的要因で急加速した前期から減速したものの、前年比の伸びは 2007 年末以来の高水準を記録するなど、基調は安定している。需要項目では、個人消費が前期比+0.7%(同+3.1%)、総固定資本形成は同+3.5%(同+5.9%)と、建設投資などの拡大を背景に前期から加速し、成長率を押し上げた。一方、輸出は、サービス輸出が高めの伸びを示す一方で、財輸出が減少したため、同+0.4%(同+7.0%)と前期から減速。輸入も同+0.6%(同+7.1%)と、輸出同様に減速したが、純輸出の成長への寄与度は▲0.1%ポイントと僅かながらマイナスとなった。</p> <div data-bbox="156 1518 746 1832"> <p>(前期比、%) GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>(注) 季節調整済 (資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>	<p>インフレ率は、2 月以降、緩やかな上昇トレンドを示してきたが、6 月に前年比+0.8%を記録した後、食料品価格や燃料等の輸送関連費の下落幅拡大などから、8 月には同+0.3%まで鈍化した。ただし直近 9 月のインフレ率は同+0.4%と、僅かに上昇した。</p> <p>9 月 24 日の金融政策委員会では、引き続き政策金利が 0.05%に据え置かれると共に、1 ユーロ=27 コルナを軸とするコルナ安誘導を少なくとも 2016 年半ばまでは継続することが示された。中銀は、堅調に拡大する景気や底堅い賃金の伸びが、インフレ押し上げ要因となる一方、予想以上に長びく食料品価格や原油価格の下落がインフレ下振れリスクとなるため、インフレ目標値(2%)の達成は、2017 年初までは実現しないであろう、とした。</p>
生産	国際収支
<p>8 月の鉱工業生産は前年比+6.3%と、前月の同+4.6%から加速。製造業が同+6.6%と、自動車などの輸送機器やゴム・プラスチック製品の生産が 2 桁の伸びを記録し全体を押し上げた。9 月の製造業購買担当者指数(PMI)は 55.5 と、高水準を維持しているが、新規受注指数の悪化により前月の 56.6 から若干弱含んだ。ドイツ車両メーカーの排ガス規制に関する不正問題が今後生産を下押しするリスクが懸念される。</p>	<p>第 2 四半期の経常黒字は 1.2 億ドルと、所得収支の赤字減少を主因に前年同期の 14.6 億ドルの赤字から改善した。ただし、財貿易収支の推移をみると、ECB の量的緩和策の実施などから、実質実効為替相場が若干強含んでいることもあり、輸出が伸び悩む一方、輸入は、内需回復を追い風に底堅く推移したため、黒字は減少傾向を示している。</p> <p>直近 8 月の貿易収支は、▲6 百万ドルと昨年 12 月以来の赤字を記録した。先行きについては、ドイツ車両メーカーの不正問題が、ドイツ向けの自動車関連輸出を軸とするチェコの輸出に少なからぬ影響を及ぼそう。輸出全体に占める自動車関連の割合が 20%近くに上るなど、チェコは、近隣諸国と比較しても、特に自動車産業への依存度が高い。この先、自動車関連輸出に対する下押し圧力の高まりが予想される中、財貿易収支の悪化が懸念される。</p>

チェコ経済・金融概況

1. 年、四半期

	2012	2013	2014	14/Q3	14/Q4	15/Q1	15/Q2	15/Q3
名目GDP実額* (10億米ト ^ノ ル)	206.5	208.4	205.2	51.4	48.7	45.1	45.1	-
実質GDP成長率* (q/q, %)	▲ 0.8	▲ 0.6	2.0	0.5	0.5	2.4	1.0	-
(y/y, %)				2.3	1.3	4.0	4.4	-
(民間消費支出)* (q/q, %)	▲ 1.5	0.7	1.5	0.3	0.9	1.2	0.7	-
(y/y, %)				1.5	2.0	2.8	3.1	-
(総固定資本形成)* (q/q, %)	▲ 3.0	▲ 2.7	2.1	0.4	0.7	1.3	3.5	-
(y/y, %)				2.7	1.9	3.0	5.9	-
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 0.7	0.1	5.0	3.9	3.4	4.7	5.3	-
小売売上 (y/y, %)	▲ 0.9	1.1	5.6	5.7	4.8	7.9	8.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.3	2.5	3.6	3.7	3.8	4.5	5.3	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.3	1.4	0.4	0.6	0.5	0.1	0.7	0.4
賃金上昇率 (y/y, %)	2.5	▲ 0.1	2.3	1.6	2.2	2.3	3.4	-
失業率 (%)	7.0	7.0	6.1	5.9	5.8	5.8	5.1	-
貿易収支 (百万米ト ^ノ ル)	3,291	5,444	7,032	1,480	760	2,326	1,768	-
輸出額 (百万米ト ^ノ ル)	139,268	142,393	151,668	37,435	36,243	34,104	34,207	-
輸出伸び率 (y/y, %)	13.2	2.2	13.0	13.2	8.5	7.9	7.1	-
輸入額 (百万米ト ^ノ ル)	135,977	136,949	144,636	35,955	35,483	31,778	32,439	-
輸入伸び率 (y/y, %)	11.0	0.7	12.1	11.5	7.7	8.1	7.6	-
経常収支 (百万米ト ^ノ ル)	▲ 3,235	▲ 1,113	1,257	▲ 1,597	228	3,778	124	-
資本収支 (百万米ト ^ノ ル)	3,306	7,704	3,859	▲ 718	264	5,824	4,646	-
対内直接投資 (百万米ト ^ノ ル)	9,438	7,358	4,884	2,145	984	1,106	▲ 463	-
外貨準備高 (百万米ト ^ノ ル)	44,265	55,798	54,085	54,410	54,085	52,036	56,683	-
対外債務残高 (百万米ト ^ノ ル)	127,746	137,376	125,105	128,573	125,105	113,154	119,129	-
株価指数	1,199	1,216	1,240	1,223	1,209	1,239	1,275	1,272
短期金利 (Interbank 3m)	1.00	0.46	0.36	0.35	0.34	0.33	0.31	0.31
EU調整長期金利 (Govt. 10y bond yields)	2.83	2.13	1.58	1.36	0.88	0.55	0.79	0.95
Koruna/USD	19.57	19.57	20.76	20.85	22.13	24.54	24.76	24.36
Koruna/Euro	25.14	25.99	27.54	27.62	27.63	27.63	27.39	27.08
Koruna/GBP	31.01	30.61	34.17	34.79	35.02	37.16	37.94	37.73

2. 月次

	15/02	3	4	5	6	7	8	9
鉱工業生産 (y/y, %)	4.9	6.5	4.5	2.6	8.7	4.6	6.3	-
小売売上 (y/y, %)	7.9	8.8	5.8	7.9	11.1	5.7	4.4	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	4.5	4.6	5.0	5.2	5.7	7.2	8.3	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	0.1	0.2	0.5	0.7	0.8	0.5	0.3	0.4
失業率 (%)	5.8	5.6	5.3	5.1	5.0	5.1	5.0	-
貿易収支 (百万米ト ^ノ ル)	765	753	643	493	631	275	▲ 6	-
輸出額 (百万米ト ^ノ ル)	11,172	12,044	11,131	10,808	12,288	11,275	9,485	-
輸出伸び率 (y/y, %)	8.0	11.6	6.3	2.9	11.9	3.1	3.9	-
輸入額 (百万米ト ^ノ ル)	10,407	11,291	10,488	10,316	11,657	11,000	9,491	-
輸入伸び率 (y/y, %)	6.7	14.9	6.4	2.9	13.4	4.7	4.5	-
株価指数	1,249	1,278	1,303	1,279	1,243	1,269	1,286	1,261
短期金利 (Interbank 3m) (期末値)	0.33	0.32	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.30
EU調整長期金利 (Govt. 10y bond yields)	0.59	0.53	0.43	0.77	1.16	1.15	0.89	0.79
Koruna/USD	24.30	25.32	25.36	24.57	24.35	24.62	24.29	24.16
Koruna/Euro	27.61	27.38	27.45	27.40	27.31	27.09	27.04	27.09
Koruna/GBP	37.26	37.86	37.97	37.96	37.90	38.31	37.83	37.03

(注) GDPデータは季節調整済み、貿易収支は通関統計より。ハイライトは速報値

(資料) チェコ中央銀行、チェコ統計局、IMF、他。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。